

令和4年度(2022年度)高校講座実施報告
(12月分)

令和5年3月20日

●山形県 県立酒田東高等学校(令和4年12月21日)



講演テーマ:平和の中にあふれる希望

講師: 在コートジボワール日本国大使館 滝沢仁 一等書記官

開催形式:オンライン

●神奈川県 私立湘南白百合学園中学・高等学校(令和4年12月16日)



講演テーマ:外務省の仕事

講師: 北米局 日米地位協定室 西尾梨奈 主査

開催形式:対面

●東京都 私立東京農業大学第一高等学校(令和4年12月16日)



講演テーマ:世界に生きる私たち

講師: 大臣官房 国内広報室 岡部教枝 主査

開催形式: 対面

●滋賀県 県立高島高等学校(令和4年12月15日)



講演テーマ:外務省及び外交政策一般

講師: 総合外交政策局 政策企画室 大竹伸平 課長補佐

開催形式: 対面

●京都府 京都市立銅駝美術工芸高等学校(令和4年12月14日)



講演テーマ:外務省及び外交政策一般

講師: 総合外交政策局 政策企画室 大竹伸平 課長補佐

開催形式: 対面

●山口県 県立岩国総合高等学校(令和4年12月13日)



講演テーマ:外交という仕事

講師: 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 細川文香 主査

開催形式: 対面

●愛知県 県立千種高等学校(令和4年12月13日)



講演テーマ:外交という仕事

講師: 大臣官房 在外公館課 吉田昌弘 課長

開催形式: 対面

●山口県 県立防府高等学校(令和4年12月12日)



講演テーマ:外交という仕事

講師: 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 細川文香 主査

開催形式: 対面

●愛知県 名古屋市立北高等学校(令和4年12月12日)



講演テーマ:外交官の業務

講師: 大臣官房 在外公館課 市川大輔 首席事務官

開催形式: 対面

●東京都 私立法政大学高等学校(令和4年12月9日)



講演テーマ:高校生の皆さんに伝えたい4つのこと

講師: 大臣官房 人物交流室 山方知之 主査

開催形式: 対面

●新潟県 私立敬和学園高等学校(令和4年12月7日)



講演テーマ:海外との架け橋になるために

講師: 国際協力局 気候変動課 楠本汐里 課長補佐

開催形式: 対面

●茨城県 私立明秀学園日立高等学校(令和4年12月7日)



講演テーマ:世界に生きる私たち

講師: 大臣官房 国内広報室 岡部教枝主査

開催形式: 対面

●埼玉県 県立杉戸高等学校(令和4年12月2日)



講演テーマ:外務省の仕事について

講師: 大臣官房 国内広報室 豊田あす香 首席事務官

開催形式: 対面

●新潟県 私立新潟明訓高等学校(令和4年12月1日)



講演テーマ:外務省について

講師: 大臣官房 国内広報室 石原文嗣 主査

開催形式: 対面

参加者からの感想(抜粋)

- ・ 今まで「外務省」という言葉は聞いたことがあっても、行っている仕事や役割についての知識が浅かったので、とてもためになったと実感できました。普通に高校生活を送っていたら交流することはないであろう外務省職員の話聞いたことは今後の自分にとって必ず役に立つと思うので、今回得られた知識や外務省職員からのメッセージは忘れずにいたいと思います。
- ・ 講師が“外国に行って困ったことがあっても日本大使館の職員がサポートする”と話していて、とても安心出来て少し留学に興味を持ちました。外務省の仕事を知ったことでまだまだ私の知らない世界がたくさんあると分かったので、これからの進路や将来に生かしていきたいです。
- ・ 特に印象深かったのが、「相手の視点に立ったときに見方が変わる」ということです。もし自分が海外と交流する立場に立ったときは、相手の視点に立ってみて、日本の良さや課題点を見つけ、その先の仕事などに生かしていきたいと思いました。
- ・ 世の中の課題というのが、実はそれぞれ相互に繋がっていて、それらをすべて解決して初めて“持続可能な成長”といえることを知ることができたので、今回の講話は良かったなと感じました。
- ・ 言語を習得することも大事だが、それ以上にその言語を道具として使って話せる自分の意見が必要だということに気づくことができ、今興味のある分野があるからこそ、その分野についての知識を深めて自分の考えを持てるようになりたいと思いました。
- ・ 講師が赴任したアフリカの国々でも、日本企業の製品がたくさん利用されていると聞いて、日本の技術力が遠い国にもしっかり伝わっているのだなと感じることができました。
- ・ ニュースなどで世界情勢について目にすることはありますが、自分の知らないところでも多くの出来事が起きていると思うと、もっと世界情勢について知りたくなりました。日本はどのような立ち位置で何をしているのか、正しい知識を持ち、自分の意見を持てるようになりたいです。
- ・ 「外交で気をつけていることは何ですか」という質問に対し、相手国の歴史や文化を理解し、傷つけないようにしているという話を聞いて、改めて、お互いを尊重することか大切なのだと感じました。
- ・ 国が違うだけで習慣や国民性、食物も違うのはすごく不思議なことです。それらの理由を、本やインターネットだけで全て調べることは不可能だと思うので、その理由を解明するためにも、いつか海外に留学してみたいです。
- ・ 講師の外国での経験を聞くことができたり、留学の意義を教えてもらったり、クイズ形式で外務省について説明してもらったりなど楽しい講演でした。興味を持った本を読んで知識をつけたり、高校生のうちにたくさんのことに挑戦したりして、自分の可能性を広げたいと思います。

- ・ 言語の壁は高く厳しいけれど、それを超えると広い世界が広がっていて選択肢も増えてくると、講演を通じて感じました。
- ・ 実際に海外に行って現地の人、あるいは世界中の人々の生活を支えることが外国と関わりを持った仕事と考えがちだったのですが、講義を聞いて通訳や外国での災害支援など様々な形で海外と関わる仕事があるということを知ることができました。